

茶情報

No. 184号 令和7年2月1日

発行所 三重県茶業会議所
三重県津市桜橋1丁目649番地
三重県農業共済組合 桜橋会館内
TEL (059) 226-8551
FAX (059) 227-9654



新春メッセージ

三重県知事 一見勝之

新年あけましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

三重県茶業会議所の皆様には、日頃より、伊勢茶の産地振興にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、三重県は、全国第3位の生産量を誇り、800年以上栽培が続く歴史ある茶産地です。インバウンド需要などに伴い、全国的にお茶の生産は回復傾向にあるものの、人口の減少や飲料における嗜好の多様化により、リーフ茶の消費が減少するなど、茶業を取り巻く状況は厳しいものとなっています。

県では、こうした状況に対応しながら本県の茶業を将来にわたり持続的に発展させていくため、茶生産者の「所得向上」と伊勢茶の「消費拡大」の取組を両輪で進めています。

「所得向上」の取組としては、経営の効率化に向けた園地の集約化など産地が抱える課題解決に向けた産地構造改革プロジェクトを推進するとともに、国の事業を活用し、茶の生産性向上に向けた施設の整備を支援しています。

「消費拡大」については、若者にも伊勢茶を選んでもらえるよう、高校生が伊勢茶を楽しむアイデアを考え、発表するコンテスト「Ise Cha Promotion Award」を令和6年11月に初開催しました。また、伊勢茶の知名度向上に向け、県内100以上の飲食店で伊勢茶を使った様々な料理やスイーツが味わえるキャンペーンも同年11月から実施しました。その他、伊勢茶マイボトルキャンペーンの普及や伊勢茶を使った新たな商品やサービスの開発についても継続して支援しています。

今後とも、茶業関係者の皆様、JAや市町との連携をより深めながら、茶産地の振興を積極的に進めてまいりますので、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、三重県茶業会議所の皆様のご健勝、ご多幸を祈念し、新年の挨拶といたします。

目次

1、新春メッセージ	1	ヴィンソンでの伊勢茶のイベントに参画	7
2、会頭挨拶	2	手揉み製茶が国の登録無形文化財に登録	8
3、第47回伊勢茶振興大会を開催	3	伊勢神宮「初詣伊勢茶接待所」の開設	8
4、トピックス		高校生を対象としたお茶の淹れ方教室	9
第78回全国お茶まつり静岡大会	7	5、茶生産者等が国等の支援事業（補助金）を	
第76回関西茶業振興大会愛知県大会	7	うまく活用していくために必要なこと	10



会 頭 挨拶

三重県茶業会議所 会頭 鎌 田 隆 郎

明けましておめでとうございます。

茶業関係者の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から三重県茶業会議所の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年7月には、当会議所及び県茶商工業協同組合を50年以上もの長い間牽引いただいた中嶋正元会頭がお亡くなりなるという悲しい出来事がありました。「偲ぶ会」に参列いただいた県内外の茶業界方々に深くお礼申し上げます。

私ども現会員も、元会頭からのご指導を思い起こしながら、日々の活動に取り組ませていただいています。

さて、昨年の茶の状況は、抹茶やドリンク用で特需生まれ、併せて輸出も順調に伸びて、需要の拡大を期待させる一面も見せましたが、煎茶など茶種によっては厳しい状況に追い込まれました。こうした需要の変化の波が、全国の茶産地にも大きく影響し、茶種の変換や生産・流通構造の変化をもたらし始めました。

茶産地に目を向ければ、担い手不足による茶園の荒廃化や茶園面積の減少等慢性的な課題に加えて、近年の燃油や肥料等資材の高騰、茶単価安の厳しい状況となっており、これらの状況を打破するため、販路の確保・拡大の計画、生産・構造改革のための地域計画の策定、これらの実践のための設備投資の計画などを必死に考え、実践しています。

茶の流通・販売を担う私どもの業界としても、こうした状況を十分認識したうえで、茶産地や生産者に寄り添うことがこれまで以上に重要と考えます。

また、三重県におきましては、全国的に進められているティーペアリングにあたる、「と、伊勢茶。」キャンペーンをはじめとして、県、市町等からの支援もあり、県内外の消費喚起のための各種イベントが積極的に展開されています。

加えて、県議会に、伊勢茶の振興に関する条例の策定に向けての調査・検討を行う特別委員会が設置されました。

こうした動きが、産地支援も含めて、継続的、本格的に実施されていくことにより、本年が本県茶業界の大いなる飛躍の年となることを期待しています。

当会議所としても、本年開催の大阪・関西万博への参画などを契機に、さらなる需要の確保・拡大に向けての新たな潮流をしっかりとつかみ、茶産地や生産者に寄り添いながら、国内外の多くの消費者の皆さんに安全で安心な伊勢茶を飲んでいただけるよう、関係者一同が一丸となり取り組んでまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、今年こそ茶業界にとりまして輝かしい発展の年になりますとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



第47回伊勢茶振興大会を開催

第47回伊勢茶振興大会が、令和6年11月26日（火）三重県津市の「プラザ洞津」で開催されました。

当日は、加藤勝東海農政局次長、一見勝之三重県知事、稲垣昭義三重県議会議長をはじめ多数の御来賓の御臨席をいただき、約100名の茶業関係者が参加し盛大に開催されました。



振興大会風景

【茶業功績者表彰】

第47回伊勢茶振興大会では、地域の茶産地でご活躍いただき功績のあった次の2名の方が茶業会議所から表彰されました。

令和6年度茶業功績者功績概要

・ 中 角 徹 氏 69歳 松阪市飯南町粥見

【経歴】 松阪市茶業組合 組合長（平成19年～平成24年）

第48回（H6）全国茶品評会 深蒸し煎茶の部 農林水産大臣賞受賞

第72回（R1）関西茶品評会 深蒸し煎茶の部 農林水産大臣賞受賞

【業績】 松阪市茶業組合長として茶業組合をまとめ、地域の振興に携わるなどその功績は多い。各種品評会に出品され、上位入賞を果たし、松阪茶の品質及び知名度向上に寄与した。

・ 浮 田 齋 氏 76歳 大台町長ケ

【経歴】 大台町茶業組合 理事（平成22年～現在）

【業績】 良質な茶の栽培、製造に励み、山間地における茶栽培技術の向上に尽力した。

自ら茶製造加工施設を所持し、地元茶農家の加工請負など、茶業における地域振興にも尽力し、大台茶の普及ならびに大台茶を全国に知らしめた功績は多大である。

【伊勢茶品評会表彰】

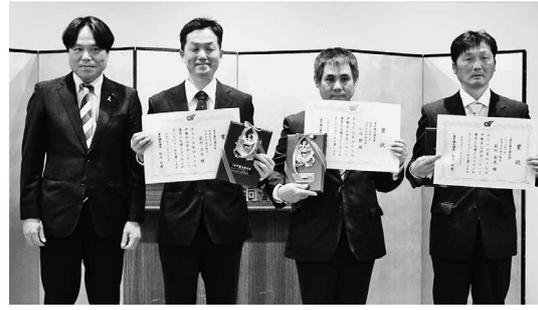
第47回伊勢茶品評会で入賞者された、1等に9名、2等に9名、3等に15名、及びそのなかで特別賞を受賞された方々を振興大会において褒賞授与を行いました。

なお、1等1席となった普通煎茶の部（有萩村製茶 萩村 和樹様（農林水産大臣賞/三重県知事賞）、深蒸し煎茶の部（有深緑茶房 高尾 哲也様（農林水産省農産局長賞/三重県知事賞）、かぶせ茶の部（有萩村製茶 萩村 浩史様（農林水産大臣賞/三重県知事賞）、1等2席となった普通煎茶の部（有萩村製茶 萩村 浩史様（東海農政局長賞/三重県議会議長賞）、深蒸し煎茶の部（有深緑茶房 仁田 勲様（日本茶業中央会賞/三重県議会議長賞）、かぶせ茶の部（有萩村製茶 萩村 重美様（東海農政局長賞/三重県議会議長賞）ほか特別賞受賞者は前号（第183号）で掲載させていただきました。

なお、今大会には、三重県知事、三重県議会議長が出席いただき、直接褒賞授与していただきました。



三重県知事賞



県議会議長賞

【産地賞表彰】

関西茶品評会及び伊勢茶品評会での評価点数を加味した総合評価で次の市町が産地賞を受賞されました。

- 1位 松阪市
- 2位 大台町
- 3位 四日市市



産地賞

【伊勢茶振興大会宣言】

県茶生産青年会 会長 伊川 淳也さんが提案者となり、茶業会議所の今後の取り組み方針・意識統一を図るため大会宣言が満場一致で採択されました。

第47回伊勢茶振興大会宣言抜粋

厳しい情勢の中でも「伊勢茶」の確実な発展に向け、本振興大会において次のことを提案し採択されました。

これまでの取組みの継続確認が主な内容ですが、輸出も視野にいた有機栽培の推進や地域計画樹立の取組みの重点化なのが新たなポイントです。

- 一 私たちは、多くの関係者の皆さんと協力して、国内外の新たな消費動向に注目しつつ、様々な方々に幅広い観点でお茶の楽しみ方を提案し、新たな緑茶ファンづくりや伊勢茶のブランディングに取り組みます。
- 一 私たちは、老朽茶園、荒廃茶園を整理し、土づくりなど茶園の活性化を進めるとともに、需要に沿った新品種や経営改善に向けた新技術の導入、茶産地の将来の設計図となる地域計画の樹立などを進めて、特徴ある良質な伊勢茶の生産基盤の強化に努めます。
- 一 私たちは、安全・安心なお茶を消費者に提供するため、食品表示法に基づく表示基準を遵守し、生産履歴記帳の継続とともにGAPやHACCPに取り組み、伊勢茶の品質管理を徹底します。以上、ここに宣言します。



大会宣言

【講演会】

大会に続いての講演会では、「世界は日本茶に夢中 皆で進める魅力発信！」と題して、京都府和束町から一般社団法人国際日本茶協会の代表 鈴木 シモナ氏、副代表 松本 靖治氏に講演をいただきました。

鈴木さんは、リトアニア出身（2013年来日）でありながら、裏千家講師、裏千家茶名を持ちながら、英語での日本茶の本の執筆や日本茶の教師としての活動をされています。

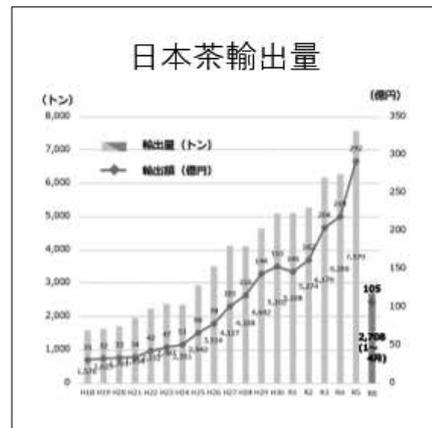
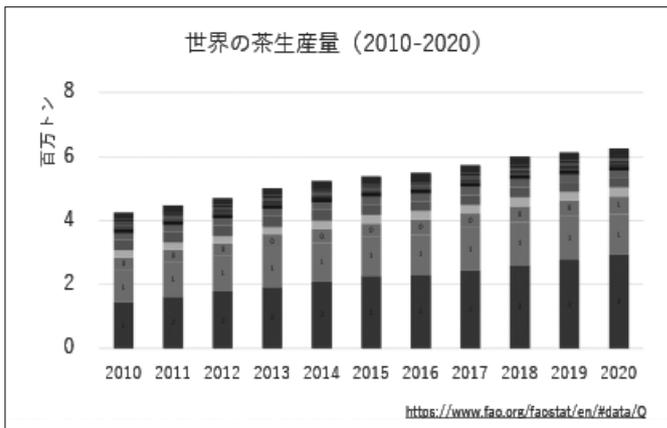
また、松本さんは、奈良県出身で、和束町に新規就農（1995年）、京都おぶぶ茶苑の副代表でもあり、ティーツーリズムの推進者としての活動もされています。

講演では、彼らが活動の背景、理由としている「世界は日本茶に夢中であること」から始まり、具体的な活動事例として、①京都おぶぶ茶苑の活動、②国際日本茶協会の活動、③長崎いけどきの活動を紹介するとともに、三重県茶業界が世界に誇る偉人「大谷 嘉兵衛」の功績をあえて紹介し、新たな活動や改革などは、「すべてはたった一人の情熱からはじまる。」と参加者に呼びかけていただきました。

以下、講演内容の一部（講演資料を含む）を紹介させていただきます。

1 世界は日本茶に夢中であること

国内の茶生産量は減少しているが、世界の茶生産量は毎年10万トンずつ増加している。日本茶輸出額は292億円（2023年）まで伸びてきており、この額は三重県の生産額（約50億円）の6倍にあたる。2019年に設立した国際日本茶協会には世界30か国、1200人が参加している。など



講師



講演会風景

2 京都おぶぶ茶苑の活動

京都府和束町 人口3,478人
 (最寄駅まで10kmバスは1時間に一本以下)
 茶畑4ha、社員7名+海外インターン約4名

○茶畑オーナー制度

一日50円で茶畑一坪のオーナーに 世界18カ国700名

○外国人観光客向けティーツアー

年間3000人の外国観光客が来店

○国際インター制度

海外のお茶が好きな若者をインターンとして受入れ。
 これまでに30カ国160人超が卒業。

○お茶の輸出

2010年よりスタート。昨年3000万円超を輸出。



3 国際日本茶協会の活動

○お茶の学校

基礎コース、中級コースはオンライン マスターコース 京都で2週間



○外国人向け情報発信とコミュニティの構築

英語で日本茶の情報発信とコミュニティを構築

○日本茶エバンジェリスト養成プログラム

海外留学する大学生に日本茶の研修を実施し、留学先で日本茶の普及活動してもらう。邦人留学生30名が今まさに日本茶を世界16カ国でPR。



エバンジェリストが留学先で日本茶をPR



主要大学へ募集



2023年から 日本茶カンファレンス

留学前の研修会

○日本茶の30人

日本茶の未来を創造する30人の革新者を紹介

4 長崎いけどきの活動

ティーツーリズム 茶産地と観光を結びつける

日本の茶産地をフランスのワイナリーのように訪問したくなる場所にする。

○考察（聴衆者の声など）

国際世界がより身近に感じられ、茶の輸出も身近なものと感じられる。

若い世代と連携した社会貢献活動が、結果的に経済活動にもつながっている。

大谷嘉兵衛のことを改めて勉強してみたくなった。

【懇親会】

講演会に引き続き行われた懇親会には、約50名の方が参加いただき、充実した情報交換の場となりました。

また、三重県議会の伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会の中瀬古初美委員長、津田健児副委員長にも参加いただき、条例策定に向け、本県茶業界の声を聞いていただける良い機会となりました。



トピックス

(10月以降の主な出来事)

第78回全国お茶まつり静岡大会

11月2日(土)静岡県浜松市福祉交流センターで第78回全国お茶まつり静岡大会が開催されました。

全国茶品評会では、本県からの出品茶は残念ながら上位入賞は果たせませんでした。

全国茶生産青年の集いにも本県茶生産青年会代表チームが参加しました。

消費拡大イベントは、浜松城公園で、「はままつ 茶+(ちゃぷらす)」と題して、お茶に音楽や食、文化等組み合わせて、翌11月3日(日)とあわせて2日間お茶の魅力が発信されました。



第76回関西茶業振興大会愛知県大会

11月16日(土)愛知県西尾市西三河農業協同組合事務センター第76回関西茶業振興大会愛知県大会が開催されました。

関西茶品評会では、深蒸し煎茶の部において、1等1席 農林水産大臣賞に松阪市(有)茶工房香肌 村瀬 貴昭様、1等2席 農林水産省 農産局長賞に松阪市(有)茶工房香肌 森本 芳樹様を受賞するなど、1等2点、2等3点、3等7点と多くの本県出品茶が受賞しました。

また、深蒸し煎茶の部 産地賞1位に松阪市、普通煎茶の部 産地賞3位に大台町が入賞しました。

恒例の消費者向けイベントは、「西尾の抹茶に日」と題して、会場周辺の屋外で主なイベントが実施されていました。



ヴィソンでの伊勢茶のイベントに参画

10月26日~11月4日に多気町の商業リゾート施設「VISON (ヴィソン)」で、伊勢茶の歴史や製法に触れながら商品や加工品の魅力を知ってもらう「伊勢茶フェス in VISON 2024」が開催されました。

この企画は、前年度から実施され、茶業会議所としても、淹れ方教室への講師派遣など参画協力しました。

また、11月3日には、高校生を含む次世代への「伊勢茶」





の認知度向上や消費拡大を目的として、県が実施したICPA (Ise cha Promotion Award) の発表コンテストがありました。

会場では一見勝之知事も見守るなか、県内の高校8校から計13チームが参加し、「イベント企画部門」「デザイン部門」「創作料理部門」の3部門に分かれて「伊勢茶」の魅力を引き出すアイデアをデザイン案の掲示や試食提供等を交えてプレゼン発表などを行いました。

最優秀賞には、イベント企画部門では青山高校「フラワーデザインサークル」、デザイン部門では四日市メリノール学院高校「Maryknoll Tea Time」、創作料理部門では飯南高校「飯南茶っ子」が輝きました。



手揉み製茶が国の登録無形文化財に登録 ～三重県手もみ茶技術伝承保存会の活動もさらに意欲的に～

国の文化審議会が、令和6（2024）年10月18日に、『手揉み製茶』を登録無形文化財に登録及び「手もみ製茶技術保存会」（会長 中森 慰）を保持団体に認定するよう文部科学大臣に答申し、12月正式に登録無形文化財となりました。

手もみ製茶技術保存会は、11府県から全国手もみ茶振興会認定資格の「茶匠（さしょう）」と「師範」保持者68名で構成され、三重県手もみ茶技術伝承保存会においても、茶匠1名と師範5名が保持者であり、他の会員も上位資格の取得を目指し定期的な研修会を開催しています。



研修会の様子



伊勢神宮（外宮）奉納



伊勢神宮「初詣伊勢茶接待所」の開設

伊勢神宮外宮において、初詣伊勢茶接待所（12月31日～1月2日）を開設しました。

昭和の時代から続く歴史あるこの事業を県茶業青年団と県茶生産青年会のメンバーを主体として行っていますが、近年、両組織ともに会員の減少から参加者の確保に苦慮してきたところです。



出来る範囲での活動を原則としながらも、会員以外への協力を呼びかけ、地元大学生等の協力も得て実施し、行列が出来るほどの多くの県内外からの参拝客に喜んでもらうことが出来ました。

高校生を対象としたお茶の淹れ方教室

毎年、茶業会議所主催で、三重県茶業青年団が実施している高校生を対象としたお茶の淹れ方教室が1月14日からスタートしました。

のべ17校（651人が対象）の要望があり、茶業青年団員が講師として各自工夫しながら対応しています。

この活動は、高校生に伊勢茶の知ってもらえる良い機会となっており、本年度から県が実施し、伊勢茶推進協議会も支援している高校生を対象としたICPA（伊勢茶プロモーションアワード）にもつながることも期待しています。



実施予定校

- 1月 四日市西高校、四日市四郷高校、四日市農芸高校、あけぼの学園高校、稲生高校、飯南高校、久居農林高校、松阪高校、四日市商業高校、明野高校、桑名北高校、朝明高校、菰野高校、いなべ総合学園、西日野にし学園
- 2月 四日市商業高校1年
- 3月 桑名高校:定時制

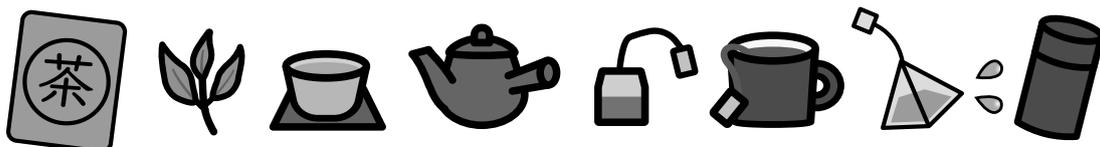
ティーバッグ加工・ ティーバッグ個包装充填加工 承ります。



茶袋の作成から各種ティーバッグ加工・
ティーバッグ個包装充填加工まで幅広く
対応いたします。

お気軽にご相談ください。

担当：村林 090-7607-4666



株式会社 **村幸**
三重県総代理店 有限会社

〒515-0025 三重県松阪市和屋町 330-4
TEL0598-28-2250 FAX0598-28-4778

※自社工場にてティーバッグ加工・ティーバッグ個包装充填加工を行なっています。

茶生産者等が国等の支援事業（補助金）をうまく活用していくために必要なこと

三重県茶業会議所では、会員の経営支援のため、市町、JA等茶業組合の事務局の方の協力を得て、茶の改植等事業や茶セーフティネット構築事業を事業実施主体として実施しています。

これは、生産者や生産者団体が、県や市町を経由せず直接国へ申請するような補助事業の増加への対応や地域事情への配慮等種々の課題について産地として取りまとめて、整理、要望しにくために効果的かつ効率的と考えて実施しているものです。

しかしながら、適切な事業実施や採択要件等を満たしていくためには、県や市町あるいは、JAに主導していただき、県茶業界としても、茶生産特有の要素（永年性作物である、生産から荒茶加工までが農業）を踏まえて、今後も、積極的に、関与、協力していくべき案件について下記のとおり整理させていただきました。

1 地域計画（人・農地プランから地域計画へ）

これまで、農業者が地域での話し合いにより、地域農業における中心経営体、地域に農業の将来の在り方などを明確化し、市町村が公表する「人・農地プラン」が、本県でも作成・実行されています。これが、今回、法制化によりさらに強化される形となり、これまで作成してきた「地域農業の将来のあり方（人・農地プラン）」＋「目標地図」＝「地域計画」となりました。

今後、国の補助事業を活用する際には、地域計画の策定は、ほぼ必須条件となると思います。

そこで、本来は、水田利用に主眼がおかれた地域計画ですが、茶の生産経営を主体として策定するために考慮すべき点を以下のとおり整理してみました。

種々の事業毎の計画策定や実施（補助金受領）後の管理でも必要となります。

○地域計画（目標地図）の範囲

地域の合意形成のためには、水田の場合は、集落単位や土地改良区（水利組合等）が多くありますが、茶園に関しては、広くとれば市町全域の茶園、一番狭くとれば、防霜ファン管理組合の計画範囲となると思われます。

地域の実情に応じて、熟慮の必要があります。

○中心経営体の形態

中心経営体は、一般的には、荒茶の生産・加工行う農業者か法人となりますが、生産と加工が分離されているケース（生産は個人で、加工は共同加工場等）が多々あることから、中心経営体となる者の人格、茶園の権利関係、将来の経営形態等を整理しておく必要があります。

○茶園の集積方法

茶園の集積にあたっての貸借期間は、茶樹の経済樹齢が35年とされることから、受け手にとっては少しでも長い期間の設定が必要であります。受け手は、将来の経営展望を見いだせ

ない、出し手は、社会状況の変化が早い等の理由で貸借期間が短くなっているケースも少なくありません。

補助金を受ける場合は、長期の事業継続が大前提とすると、水田の尺度ではなく茶園の尺度での話し合いが必要となります。

また、集積される茶園は、園ごとに樹齢やそれまで管理状況が異なるので、茶園の評価基準などを決めていくことも重要になると思います。

2 環境負荷低減のクロスコンプライアンス チェックシート

農林水産省の全ての補助事業等において、チェックシート方式により、最低限行うべき環境負荷低減の取組の実践を要件化する「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」が導入されています。

改植等事業は、前年度から、茶セーフティネット構築事業でも令和7年度から導入されます。

但し、チェックシートの内容がGAP取得内容に含まれることから、GAP認証書の写しをもってチェックシートの提出に代えることが認められている事業も多くなっています。

県内の茶業関係者には、GAP取得者が多いことから、取得者のメリットとしてなるよう、事業毎にこの措置を要望しています。

環境負荷低減のクロスコンプライアンスのイメージ

○ 今後、農林水産省の全ての事業において、最低限行うべき環境負荷低減の取組の実践を要件化することにより、支援の実施により新たな環境負荷が生じないようにする。

<各種支援>



機械導入 施設整備 増産

環境にやさしく
生産性も高い農業へ！



各種支援に当たり、
環境負荷低減の最低限の取組を要件化
(=クロスコンプライアンス)

新たな環境負荷を生じさせないよう配慮



最低限行うべき取組（例）

<input checked="" type="checkbox"/> 肥料・農薬の使用状況の記録・保存	→ 使用量を把握して次期作に向けた化学肥料・化学農薬の使用量の低減につなげる
<input checked="" type="checkbox"/> 作物の生育や土壌養分に応じた施肥	→ 必要な量のための施肥を行い、化学肥料の使用量の低減につなげる
<input checked="" type="checkbox"/> 農薬ラベルの確認・遵守、農薬の飛散防止	→ 周辺環境への影響を最低限にする
<input checked="" type="checkbox"/> 電気・燃料の使用状況のこまめな確認、記録・保存	→ 使用量を把握して不必要・非効率なエネルギー消費を防ぐ

農林水産省茶セーフティネット構築事業説明会資料より

大事な茶樹を病害虫から守る！！

三重県農薬商業協同組合

理 事 長 中 村 剛 明

副 理 事 長 青 木 貴 行

副 理 事 長 加 藤 眞 八

事 務 所 津市桜橋 1 丁目649番地
T E L 059-225-7617
F A X 059-225-5341

おいしいお茶に最適の肥料を！！

三重県肥料商業組合

理 事 長 加 藤 眞 八

副 理 事 長 九 鬼 十三男

常 務 理 事 丹 羽 通

事 務 所 津市桜橋 1 丁目649番地
T E L 059-225-5341
F A X 059-225-5341

KAWASAKI



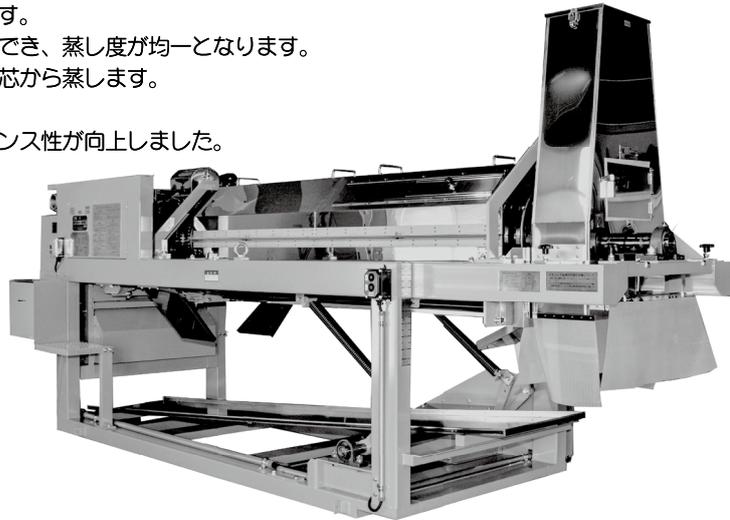
保温型回転蒸機 H-MRW / 3in1

蒸胴と回転蒸気噴出胴が別々に駆動する蒸機

- 「蒸す」と「蒸らし」が別々に調整できます。
- 大型生葉にしっかりと蒸気を当てることができ、蒸し度が均一となります。
- 回転蒸気噴出胴内でしっかりと蒸気を当て芯から蒸します。
- 蒸気量が削減でき省エネに寄与します。
- シンプルなフレーム構造により、メンテナンス性が向上しました。



蒸胴回転用ギヤー



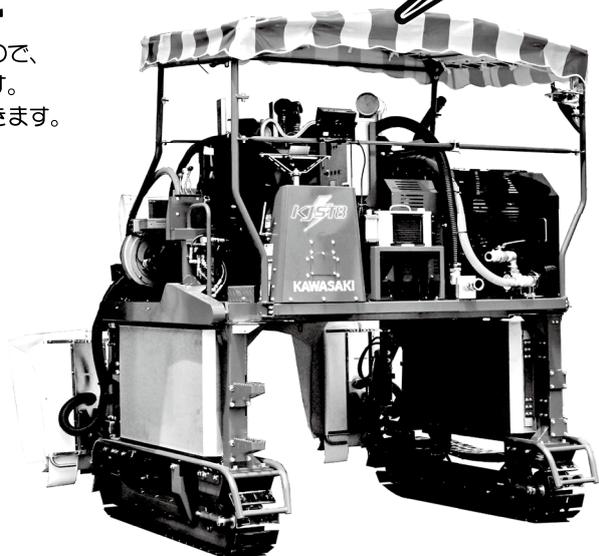
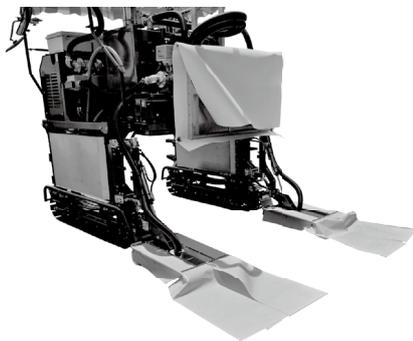
回転蒸気噴出胴回転用ギヤー

乗用型防除機 KJST8



有機栽培茶園の除草対策に

- ボイラーで沸騰させた蒸気を畝間に直接吹き付けますので、茶樹を枯らすことなく雑草のみを枯らすことができます。
- 除草作業後24時間程度で、効果を確認することができます。
- 繰り返し除草作業を行うことにより、雑草の生えにくい茶園になります。



カワサキ機工株式会社

本部 〒436-0005 静岡県掛川市伊達方 810-1 TEL 0537-27-1791 FAX 0537-27-1716

OCHIAI もっと手早く、高度な作業。さあ、あなたの茶園に確かな未来を築こう。



NEW

乗用型摘採機 (コンテナタイプ)
OHC-11VB・33VB型
■コンテナ容量 / 11VB型 : 2.2㎡、33VB型 : 2.8㎡

Vブローブラシ方式により
高速摘採が可能に!
大容量コンテナ摘採機!

NEW

乗用型摘採機 (コンテナタイプ)
OHC-5DVBII型
(低床タイプ)
■コンテナ容量 / 1.6㎡



傾斜地に強い!
低い運転席で
バッグンの安心感!

茶摘機・茶園管理機

 **落合刃物工業株式会社**

本社・工場 / 静岡県菊川市西方58 ☎(菊川)0537-36-2161 (代)FAX35-4643
関西亀山営業所 / 三重県亀山市布気町字山之下1500 ☎(亀山)0595-82-0505
九州福岡営業所 / 福岡県八女市大字室岡449-1 ☎(福岡)0943-25-7010
九州鹿児島営業所 / 鹿児島県霧島市溝辺町崎森2958-1 ☎(鹿児島)0995-64-1122
<http://www.ochiai-1.co.jp/>

2005 750